

1 現状と課題

〔現 状〕

- マツダ（株）防府工場及び同社と関連する企業が立地・集積。本県における工業製造品出荷額の約2割（第2位）を占める輸送用機械器具製造品は全国第14位。自動車関連は約9,200億円と8割超
- 北部九州・広島地域を合わせた生産台数は約240万台と、国内の一大生産基地を形成
- 自動車産業は、いわゆる「CASE*」による技術革新により、100年に一度の変革期にある状況

〔課題と方向性〕

- 次世代自動車の普及拡大に伴い、エンジン部品、駆動・伝達部品等の削減が見込まれることから、バッテリーやモーター、電子部品、軽量・機能性部材等の新市場創出や新規参入への対応が必要
- 自動車産業の動向や自動車メーカーのニーズ把握とともに、多様な産業分野における県内企業（自動車関連、素材型メーカー等）の連携、マッチングの強化を通じ、技術開発・提案力の向上や新技術・新製品・新市場の開拓、生産性向上などの勝機につなげることが必要

2 プロジェクトの概要

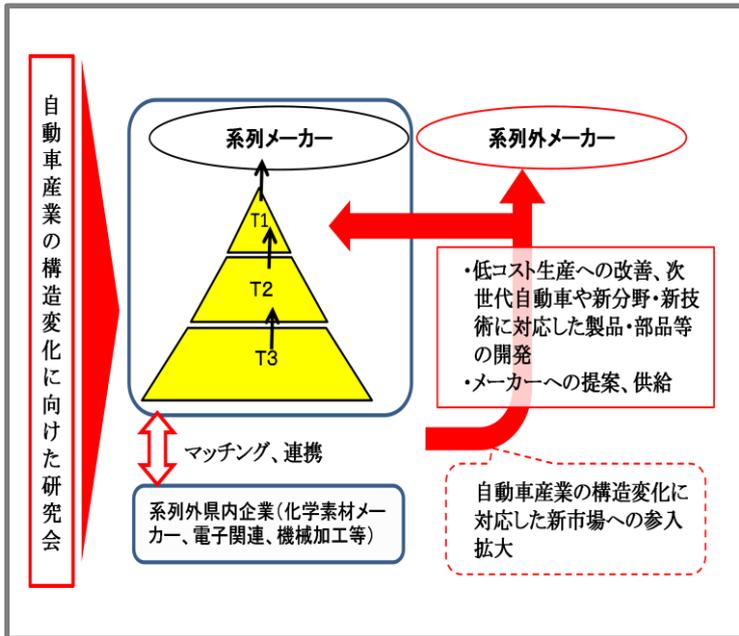
自動車産業の構造変化に向けた研究会や産学公金連携組織の設置

- 自動車産業の構造変化や将来見通しについて、自動車関連をはじめ素材系、電子部品、技術加工等幅広い企業の連携や情報・技術交流のためのプラットフォームを形成
- 「次世代のクルマづくり」に係る中長期的技術についての展開方向を探求（軽量化・高性能技術、製造方法の効率化、コストダウン方法等）

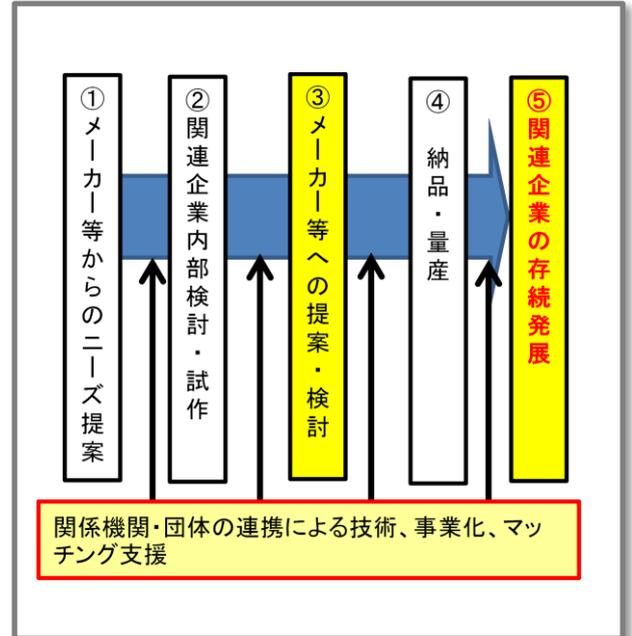
自動車関連企業のイノベーション*創出支援

- ワークショップ等による企業間連携の仕組みづくり
 - ・ 分野別ワークショップ、技術交流会
 - ・ 自動車メーカー等のニーズ・シーズ発信による研究会
 - ・ 商談会やマッチング支援等
- 企業の競争力・開発力強化に向けた研究開発・事業化への支援

●取組フロー



●メーカーと県内企業間連携



3 工程表

取組	2018年度	2019年度	2020年度
自動車産業の構造変化に向けた研究会や産学公金連携組織の設置	<p><研究会の開催(4回/年)></p>	<p><産学公金連携組織の設置と運営></p>	
自動車関連企業のイノベーション*創出支援		<p><分野別ワークショップの開催、技術交流会></p>	<p><商談会やマッチング支援></p>
		<p><自動車メーカー等によるニーズ・シーズ発信による研究会></p>	

4 取組目標 (指標)

指標名	現状値		2020年度目標値
	数値	基準年/年度	
自動車産業に係る産学公金連携組織への参画企業数	—	—	100社